

予防、診断、治療、フォロー、サポート。
すべての患者に対して、標準的な治療・ケアが適用できるわけではありません。
様々な合併症、薬剤の相互作用、心理的サポートの介入時期、
患者ニーズへの対応、医療経済的問題……。
がん診療では、そのほとんどのケースにおいて、個別性が前提となっています。
標準治療の少し先を考えるためには、
現場に即した「問い」と異なった視点による「答え」を知ることも必要ではないでしょうか。
Q&Aは企画者が設定しました。
Clinical Questionに対して、エキスパートが視点の異なる考えを提示します。

View-point

がん診療

「前立腺がん」

Q&A企画・
Answer: 賀本敏行 (宮崎大学医学部 泌尿器科学分野)

Answer: 高橋俊二
(がん研有明病院 総合腫瘍科)

杉元幹史
(香川大学医学部 泌尿器・副腎・腎移植外科)

都築豊徳
(愛知医科大学病院 病理診断科)